

# 教宣 せぶん

## いまできること

西日本ブロックでは「ピラ」を行いながら、OBとの交流をはかっている様子が再三報告されていますが、当分会でも11月2日・3日、長野・群馬を中心とした地区で、定期的に行っているOB交流会が開催されました。今回は5名のOBが参加され、旧交をあたためるとともに、情報交換やたたかいの近況について話し合いました。どのOBの方もホームページを良くご覧になってくれていて、私たちのたたかいの状況について理解してくれていました。

交流会の中では、以前「せぶん」で報じた、私たちには『操作する権限がありません』というメッセージが出るというメールについて話題が集まり、「このことは一従業員の問題ではなく、会社が契約係従業員をどう見ているか、端的にあらわしている現象だ」「人権を大切にすると謳う企業の実態が出た差別的な行為」など、忌憚のない意見が出ました。

また、「代理店業務をやっていても必要な情報がまったく入ってこない。出身労組を問わず転進した者やOBにとって、ホームページや教宣紙が情報を得るための貴重な役割を担っている」という声もいただきました。書き手のみなさん、さらにいっそう奮闘しましょう。

席上、12月8日に開催される「ポスティングピラ 200万枚 全国一斉行動」について、長野地区でも開催できるよう協力を仰ぎましたが、快諾していただきました。こういった交流会への出席をはじめ、カンパやハガキの取りくみ、「ピラ」や街宣行動への参加など、私たちの後ろに、私たちのたたかいを支援してくれるOBの皆さんがたくさんいることを再確認しました。ありがとうございます。今後ともご支援、よろしく願いいたします。

交流会に先立って、団体署名や要請行動など日ごろお世話になっている県労連へ挨拶に行ってきた。重ねて「12月8日」へのご協力もお願いしました。「12月8日」については、すでに行事が入っているため難しいとのことでしたが、その行事に時間を割いて参加者に訴える時間をとっていただけそうです。また、「ハガキ」をお願いしたところ、快く承知していただき、持っている20枚、すべてを置いてくることになりました。ありがとうございました。

私たちのたたかいの輪はまちがいなく広がっています。さらに世論に訴えることによって裾野を広め、このたたかいをすすめましょう。いま私たちにできることは「ピラ」と「ハガキ」です。